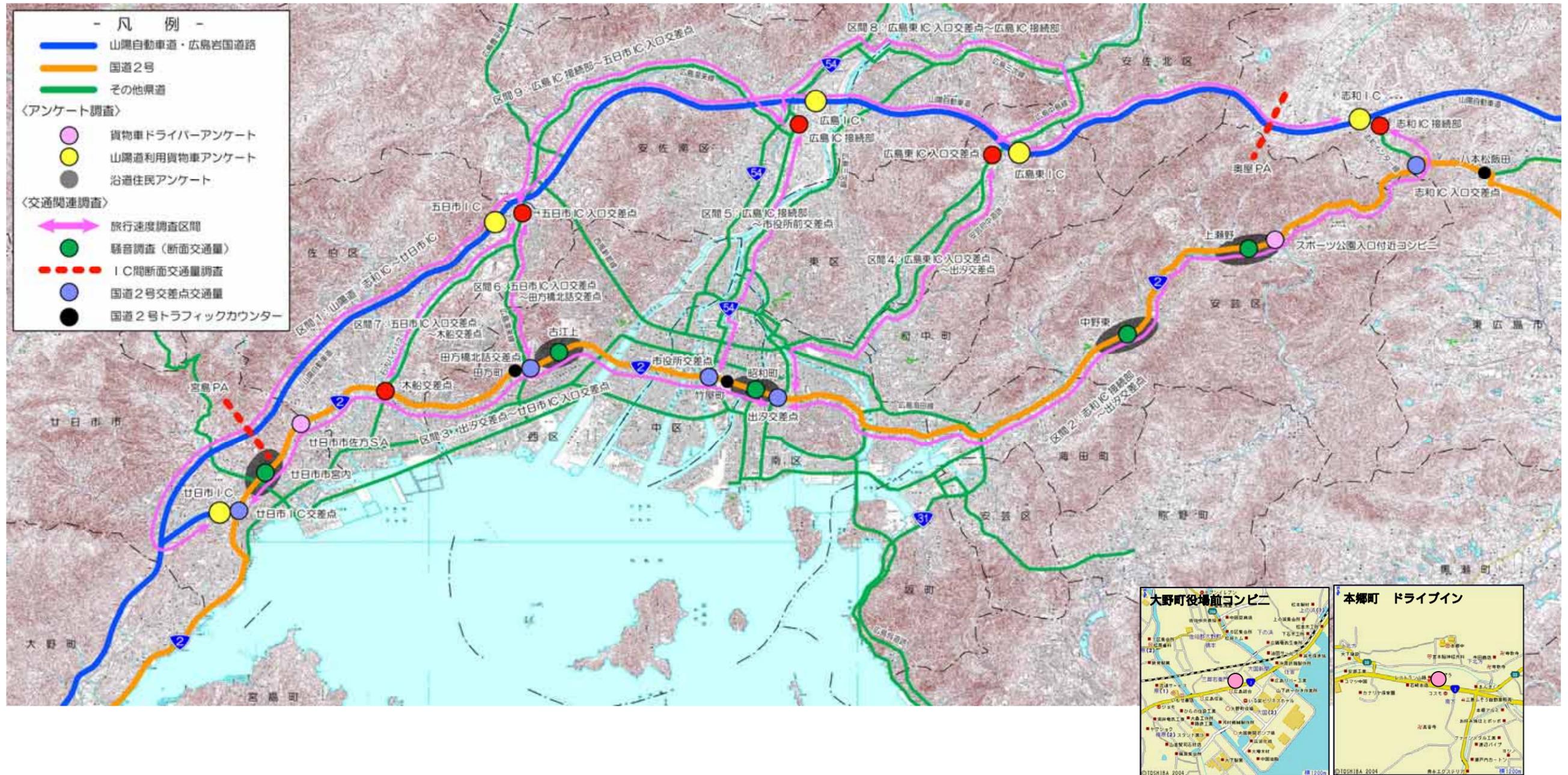


2. 調査計画

2-1. 調査計画表

調査種類	調査目的	本実験への活用	想定されるアウトプット	調査時期	調査時間	調査概要	調査箇所	
アンケート調査	貨物車ドライバー	高速道路利用の現状の把握 経路選択における容量性の把握 社会実験における高速道路利用意向の把握 高速道路利用を促す方策の検討 実験実施による高速道路利用に対する意識変化の把握 実験期間中のドライバーとしての意見の把握	割引料金を決定する参考資料として活用 料金割引以外の方策の参考資料として活用 モニター登録者に実験期間中、随時意見を頂き、本実験の参考にする。	【実験前】 ドライバーの高速利用の現状 求められるサービス内容 持続可能な料金体系 【実験後】 持続可能な料金体系 実験による高速利用者の変化 高速利用、沿道環境に対する意識変化 高速道路利用の定着（残留効果）	実験前5日間 実験後1回	夜間12時間	国道2号沿道のドライバーに調査票配布 ・直接配布、郵送回数 ・配布枚数：1,000票（回収150票） 事業所アンケートと同封 ・事業所アンケート参照 【配布状況によって配布時間帯変更（延長）】 実験後調査 ・モニター登録車両にアンケートを行う。	・本郷町本郷ドライブイン ・スポーツ公園入口付近コンビニ ・佐方SA ・大野町役場付近コンビニ
	トラック運送事業者	企業としての高速道路利用の現状把握 道路環境問題に対する認識と環境対応策の現状把握 社会実験への意見と協力意向把握 高速道路の利用促進に向けた方策の検討と仕組みづくり 実験実施による高速道路利用に対する意識変化の検証	料金割引以外の方策の参考資料として活用	【実験前】 企業としての高速利用の現状 求められるサービス内容 持続可能な料金体系 【実験後】 持続可能な料金体系 実験による高速利用者の変化 高速利用、沿道環境に対する意識変化	実験前1回 実験後1回		トラック協会加盟企業 全1,700社 ・郵送配布、郵送回数 ドライバーアンケートも同封（3票/社） 実験後調査 ・モニター登録企業にアンケートを行う。	
	割引対象の山陽自動車道利用貨物車	割引による普通貨物車の高速道路利用の変化の把握 山陽自動車道を利用した理由などを把握 起終点・交通目的など交通の種類ごとに、値下げに伴う交通経路変更や利用頻度の変化を調べ、転換交通需要と推計手法を検証 料金値下げに対する利用者意識を把握 割引率と転換交通需要との関係を検証		実験による国道2号からの転換量 実験の認知度 転換交通需要推計手法の検証 高速道路利用の定着（残留効果）	実験中2回	24時間	IC料金所出口にて普通貨物車に調査票配布 ・直接配布、郵送回数 ・実験中2回 24時間 ・配布枚数：10,000枚（回収1,500枚） H15年11月実績 8,000台	・志和IC ・広島東IC ・広島IC ・五日市IC ・廿日市IC
	沿道住民アンケート	沿道における現況の騒音状況を把握 実験による環境改善効果を定性的に評価 実験による交通の転換を定性的に評価		沿道住民からみた国道2号の現状の騒音状況 大型車の減少による騒音の変化を定性的に評価（環境改善効果） 実験による国道2号の交通量（大型車）の減少	実験中1回		騒音調査箇所付近の世帯に配布。 ・直接配布、郵送回数 ・実験中1回 昼間12時間 ・配布枚数：1000枚（回収約150枚） 1箇所200世帯×5箇所	騒音調査箇所 ・上瀬野 ・中野東 ・昭和町 ・古江上 ・廿日市市内
交通関連調査	旅行速度調査	料金時間差転換率式（道路公園）を用いた推計値の妥当性を検証 割引による交通流動変化に伴う旅行速度の変化を検証 実験前と実験中の交通転換量を検証する資料とするため、実験後の調査は実施しない（調査2回）	転換交通需要推計手法の検証 大型車の減少による旅行速度の変化	実験前1回 実験中1回		各IC間を結ぶ現道（9区間） ・平日17時間 朝ピーク（7時～9時）1回 夕ピーク（17時～19時）1回 昼オフピーク（10時～16時）2回 夜間（22時以降）1回	1 志和IC～廿日市IC 2 志和IC～出汐交差点 3 出汐交差点～廿日市IC入口交差点 4 広島東IC入口交差点～出汐交差点 5 広島IC接続部～市役所前交差点 6 五日市IC入口交差点～田方橋北詰交差点 7 五日市IC入口交差点～木船交差点 8 広島東IC入口交差点～広島IC接続部 9 広島IC接続部～五日市IC入口交差点	
	騒音調査（断面交通量）	山陽道への交通転換に伴う騒音低下を計測し、環境改善効果を把握 連続で測定し、実験経過に伴う、実験前・実験中・実験後における交通量の日変動に伴う改善効果を把握 観測交通量を用いて騒音予測を行い、実験による交通転換の影響を分析する	大型車の減少による騒音の変化（環境改善効果） 交通量の日変動と騒音の関係 高速道路利用の定着 騒音予測の妥当性	騒音調査 実験前1週間 実験期間中 実験後1週間 断面交通量 実験前1回 実験中1回 実験後1回	24時間	騒音調査 ・騒音計を用いて観測 交通量調査 ・人手にて観測 ・4車種分類 ・上下2方向 国道2号のトラカン活用 ・八本松飯田 ・竹屋町 ・田方町	道路官民境界 ・上瀬野 ・中野東 ・昭和町 ・古江上 ・廿日市市内	
	IC間断面交通量調査	割引による山陽自動車道の交通量の増加を把握 実験後にも調査を実施し、実験による高速道路利用定着効果を検証 （交通量の日変動をトラカンデータを用いて把握）	実験による山陽自動車道の交通量の増加 転換交通需要推計手法の妥当性 高速道路利用の定着 山陽道の交通量の日変動	実験前1回 実験中1回 実験後1回	24時間	人手にて観測 ・4車種分類 ・上下2方向 道路公園のトラカン活用 （10月下旬～2月連続）	・奥屋PA ・宮島SA	
	山陽自動車道ICペア間交通量	各インターペア間における交通量増加量を把握し、料金と転換需要との関係を把握 料金弾性値を求め、効果的な割引方法を検討		転換交通需要推計手法の妥当性 持続可能な料金体系 実験による山陽道の交通流動の変化			道路公園のデータを活用 ・ICペア間交通量 ・指定勤務明細	
	国道2号交差点交通量	山陽自動車への交通転換に伴う交通流動の変化を、山陽自動車道ICを流し出す交通が通過する国道2号交差点を対象として検証 国道2号の交差点付近での断面交通量の変化を検証 （2号断面交通量の日変動をトラカンデータを用いて把握）		主要交差点における交通流動の変化 国道2号の交通量の日変動	実験前1回 実験中1回 実験後1回	24時間	人手にて観測 ・4車種分類 ・全方向 断面交通量補完・国道2号トラカン ・八本松飯田 ・竹屋町 ・田方町 ・大竹市西栄	・志和IC入口交差点 ・出汐交差点 ・市役所前交差点 ・田方橋北詰交差点 ・廿日市IC入口交差点

2-2. 調査箇所図



2-3. 調査スケジュール

調査種類	スケジュール																																									
	10月							11月							12月							1月							2月							3月						
													1					20							15																	
アンケート調査	貨物車ドライバー				4	10																																				
	>> 国道2号沿道アンケート				■	■																																				
	>> 事業所アンケートと同封																																									
	モニター車両アンケート																																				16				23	
トラック運送事業者																																										
モニター企業アンケート																																										
割引対象の山陽自動車道利用貨物車																																										
12/10前後																																										
2月始め																																										
沿道住民アンケート																																										
2月始め																																										
旅行速度調査																																										
2月始め																																										
騒音調査 (断面交通量)																																										
>> 騒音調査																																										
>> 断面交通量																																										
28																																										
24																																										
20																																										
15																																										
22																																										
2月始め																																										
2/20前後																																										
交通関連調査																																										
IC間断面交通量調査																																										
>> 人手観測																																										
>> 道路公団トラカン																																										
28																																										
28																																										
山陽自動車道ICペア間交通量																																										
>> インターペア間交通量																																										
>> IC流出交通量・指定勤務明細																																										
28																																										
2月始め																																										
3/8前後																																										
3/8前後																																										
国道2号交差点交通量																																										
>> 国道2号交差点																																										
>> 国道2号トラカン																																										
28																																										
28																																										

■ 人による実測データ ■ トラカン等の情報データ